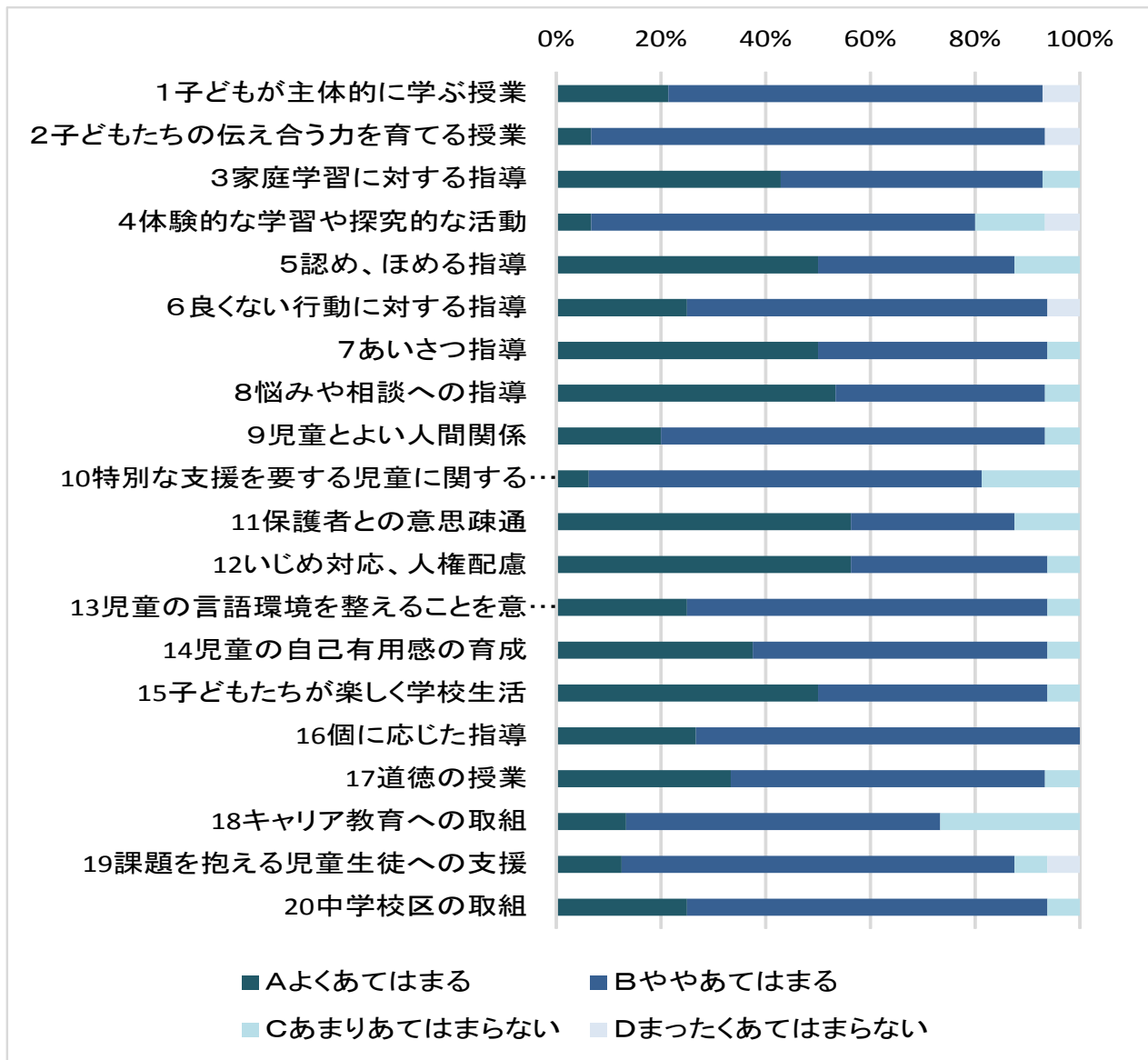


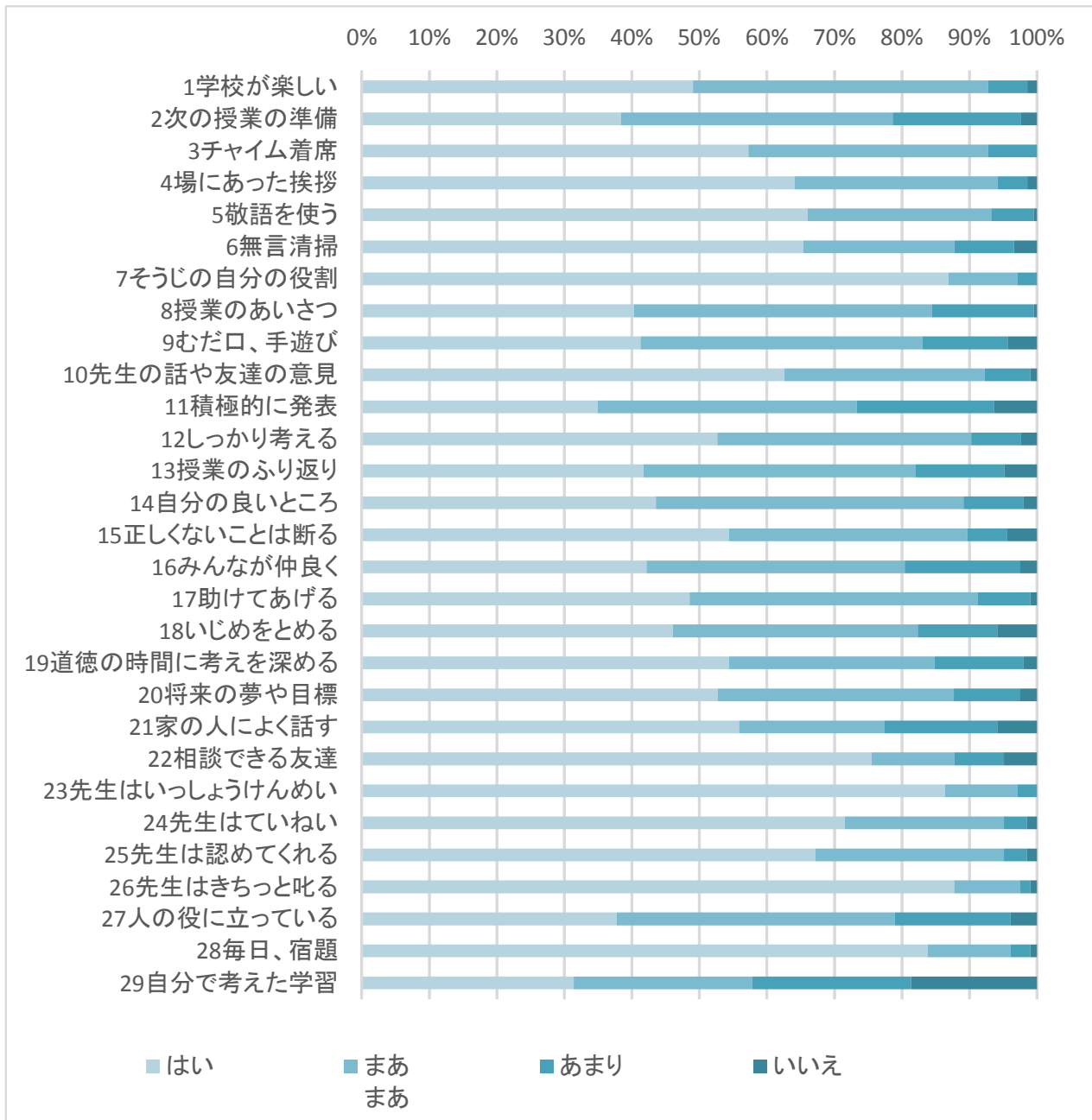
平成30年度 学校評価の結果

■教員自己評価結果



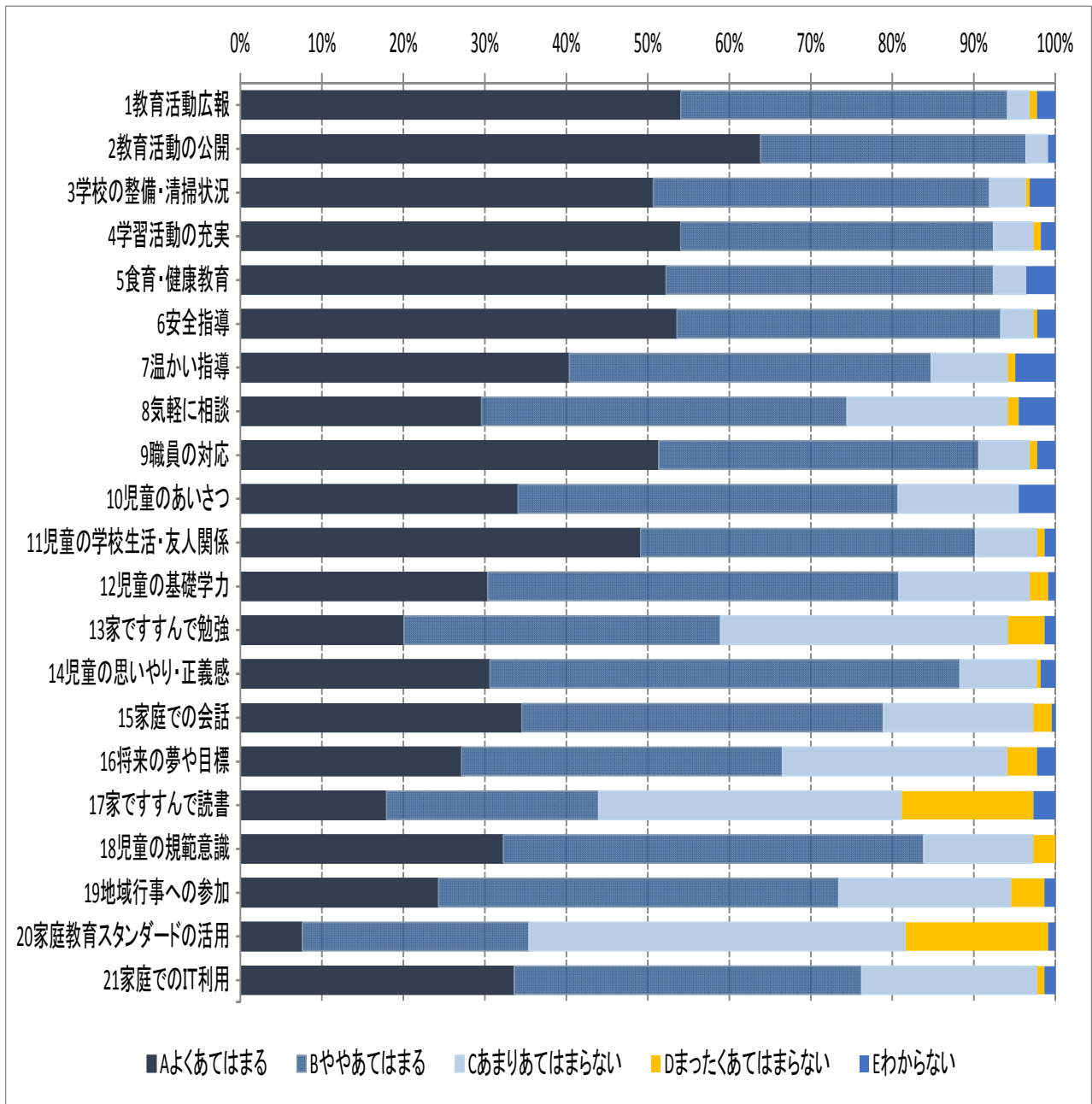
- 20項目のうち、「18 児童が夢や希望を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている」以外は、「Aよくあてはまる」+「Bややあてはまる」の合計が80%以上の肯定的回答を得ている。その中でも、「16 発達段階や児童一人一人に応じた授業づくりに熱心に取り組んでいる」は、100%になっている。このことは、少人数指導、習熟度別指導、通級指導など、児童一人一人に応じたきめ細かな指導を行っているからであると考えられる。全教員が一丸となって、本校の教育目標の達成に向けて努力していることがうかがえる。
- 「12 いじめ対応・人権配慮」「17 道徳の時間の確保し、心を見つめ、生き方について考える指導」については、90%の肯定的回答を得ている。光陽中学校区全体で道徳教育の充実に向け研究を進めていることが、効果を上げていると言える。
- ▲ 「18 キャリア教育への取組」の肯定的回答が80%を下回った。後述する保護者アンケートでも課題となっており、今後、家庭と学校が連携協力して、児童一人一人の社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を育てていく必要がある。(保16関連)

■ 児童アンケート結果



- 「1 学校は楽しい」の肯定的回答が 93 % と高い。学習や遊びの中で児童の自己有用感が高まり、充実した学校生活を送ることができていると思われる。今後、100 % をめざし、どの子にとっても学校が楽しくなるよう教育活動の更なる充実を図っていく。
- 「23 先生はいっしょけんめい」「24 先生はていねい」「25 先生は認めてくれる」「26 先生はきちっと叱る」は 95 % 以上が肯定的な意見を持っている。一人一人を大切にされた指導が、効果を上げていると思われる。
- ▲ 「28 毎日宿題をしてくる」は 96 % であるが、「29 自分で考えた学習」の肯定的意見は 57% であり、否定的意見が他の項目に比べ多い。保護者アンケートでも「家で進んで学習に取り組む」は 59 % であり、自らすすんで学習に取り組むための支援が今後の課題であると考えられる。(保 13 関連)

■ 保護者アンケート結果



- 「1 教育広報」「2 教育活動の公開」「3 校舎内外の清掃整備」「4 学習活動の充実」「5 食育・健康教育」「9 職員の対応」の肯定的回答が、いずれも 90 %を超えている。学校公開はもちろん、「学校便り・学年・給食・保健便り」等で、常に学校の様子を知らせていることで、学校への信頼の高まりがうかがえる。今後も継続していきたい。
- 「11 児童の学校生活・友人関係」の肯定的回答が 90 %である。児童アンケートでも、ほとんどの児童が学校が楽しいとの回答している。今後も一人一人の児童の様子を丁寧に見つめ、適切な支援をしていきたい。
- ▲ 「20 家庭教育スタンダード」の活用が、36 %であると低い（昨年度より約 10 %増）。今後も光陽校区と連携をとりながら、定着を図っていくことが重要である。PTA総会や、学級懇談会、学校便りや学年便り等で話題にあげ、常に意識してもらえるようにするための取組が必要であると考えます。

- ▲「16 将来の夢や目標」の割合が 60%弱である。教員評価「18 キャリア教育」の充実を図り、児童が将来の夢や目標を持てるように、個の特性を伸ばす支援を行う事が今後の課題である。
- ▲「家ですすんで勉強」「17 すすんで読書」の割合が低い。児童も保護者も家庭学習が十分でないと回答（児 29 関連）している。今後は「すすんで学習」の取り組み方について支援が必要である。
- ▲今年度より新項目「21 東安居っ子のスマートルール」については、80 %に達していない。適切な利用ができるよう、今後も家庭・地域・保護者が連携していく必要がある。